

# まるりん通信

第177号 平成27年3月発行

公益財団法人 屋久島環境文化財団 Tel.42-2911 FAX49-1018



## 平成27年度財団支援事業募集のお知らせ

(詳しくは屋久島環境文化財団までお問合せください。Tel.0997-42-2911)

屋久島環境文化財団では、下記の事業について支援金を希望される団体・個人を募集します。

### ◇環境文化芸術活動支援

各集落に伝わる伝統芸能の保存会及び島内で優れた芸術活動を行っている個人、団体、グループ等に支援を行います。**支援金**：7万円を限度とし3団体

### ◇地域づくり支援事業（地域活性化枠）

NPO法人や、青年団など、地域づくり活動等を行う団体で、事業にかかる財政的な支援を受けていないものに対して支援を行います。**支援金**：支援対象経費の2/3以内とし10万円を上限とします。（1団体）

### ◇屋久島新特産品開発支援事業

屋久島環境文化村構想に基づく環境文化村ブランドの確立を推進するため、島内で商品の開発等に関する研究や活動を行う団体、グループ等に支援を行います。**支援金**：支援対象経費の10万円を上限とします。（2団体）

### ◇屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業（4月15日（水）締切）

屋久島（口永良部島含む）において、生物多様性保全を図るため、調査・研究を行っている大学・団体等これらに所属する個人が行う活動に要する経費に対し、助成を行います。

**支援金**：予算の範囲内において30万円を上限とします。

### ◇屋久島環境ボランティア活動支援事業

屋久島で自然環境保全を目的に活動する団体等に支援を行います。

**支援金**：支援対象経費の4/5以内とし、5万円を上限とします。（2団体）

### 第2回自然・文化体験セミナー

#### 屋久島感動めぐり～新緑の屋久島旅～

新緑鮮やかな森の中を歩いて山頂を目指すモッコウ岳トレッキングや、新緑のスキの香りを用いたアロマスプレー作りなどを通して、初夏の屋久島の自然を楽しんでみませんか。



開催日：5月3日（日）～5月5日（火）

対象：高校生以上

参加費：20,000円

定員：20名（先着順）

申込締切：4月19日（日）

※詳しくは研修センター(46-2900)まで。

### 交流ホール・レクチャー室展示

#### 『黒潮の貝殻展』

屋久島、種子島、博多湾、熊本県荒尾、対馬、沖縄、石垣島、西表島、台湾澎湖島で採集した約450種の貝殻標本とフィリピン産貝殻（購入品）、貝殻写真78枚、海岸写真11枚を展示いたします。

実施日：3月20日（金）～3月31日（火）

31日は15時まで展示

主催：俊デザイン 谷口 俊四郎

場所：村センター（宮之浦）交流ホール

入場：無料

平成26年度特別企画展

#### 『みぢかな里の生き物展』

身近な生き物たちの不思議について展示します。研修センターインストラクターによる企画展です。

実施日：3月20日（金）～4月15日（水）

主催：公益財団法人 屋久島環境文化財団

場所：村センター（宮之浦）レクチャー室

入場：無料

※上記2つについては無料でご覧になれます。

※詳しくは文化村センター(42-2900)まで。

### 休館日のお知らせ

文化村センター 3/17, 4/21

研修センター 3/16, 3/23, 4/6, 4/13, 4/20, 4/27

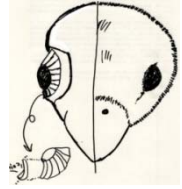


## ～インストラクター便り～『屋久島ホネホネ探検隊！』研修センター 福元 豪士

私たちの体をしっかりと支えてくれている『ホネ』。身近なようで、意外と知らないホネの秘密や魅力。屋久島ホネホネ探検隊員の福元が『ホネ』の不思議な世界にお連れします。

### ホネの不思議な世界①「がんばり屋さん！？ホネのお仕事」

ホネのお仕事は体を支えるだけだと思いませんか！？実はがんばり屋さんのホネ。ホネは工場であり、貯金箱でもあります。ホネの骨髓というところで新しい血を作ったり、体に大事なミネラルを蓄えたり必要なときには血にとかしてくれます。ラーメンでホネから美味しい出汁をとれるのは、このお仕事のおかげなのです！



### ホネの不思議な世界②「意外なところにホネがある！？鳥の眼」

鳥の眼はとても大きいことを知っていますか？鳥の中には脳みそより眼が大きな種類もいます。大きな眼を固定するためや、風圧から守るため目玉の中にホネがあります。黒目の周りにウロコのようにぐるっとつながっています。鳥の先祖といわれる恐竜にも眼にホネがあります！

### ホネの不思議な世界③「ホネが教えてくれる！？へびのしっぽはどこにある」

ホネを見ているといろいろなことを教えてくれます。例えば、へびにはしっぽがあることは知っていますか？くねくねでやわらかいへびにもしっかりホネがあります。どこから胴体で、どこからしっぽか分かりますか！？ヒントは左右に飛び出た肋骨です。



さて、ホネの世界への入り口を少しご紹介しました。もっとホネの世界を知りたい！答えの続きが気になる！と思った方、3月20日から文化村センターで開催される特別企画展に是非お越しください。さらなるホネの世界へお連れします！

参考文献：ホネホネたんけんたい 文：松田素子 写真：大西成明 監修・解説：西澤真樹子

## ◇◇◇財団の活動報告◇◇◇

### ○屋久島感動めぐり「島の恵みに触れる1日」2月8日開催

午前中は、普段出来ない収穫体験、箱づくり、お昼からは楽しみにしていた方も多かった「タンカンでハンドメイド♪」いつもは捨ててしまう皮を使って草木染め・ハンドクリーム作り、ジャム作りにはタンカン丸ごと使いました。最後にできたジャムは紅茶に入れてロシアンティー♪皮・実・色・香り・味…タンカンって全部使えるからすごい！「もったいない」を感じてもらえ、参加者も多く賑やかな1日となりました。

### ○屋久島感動めぐり「オフロードポタリング」2月11日開催

抜けるような冬晴れの中、普段見ることの出来ないワイヤーで木材を運ぶ様子や、砂防ダム、サツマイナモリの花がいっぱい咲く中、道の脇では自然観察等を行いながら、高平岳の高さ493メートルと同じ位までのぼりました。参加者の皆さんは、無事完走されました。お疲れ様でした。

### ○星空観察会2月20日開催 八幡小学校校庭

ものすごく天気がよくて、様々な星団や星雲など、観察することが出来、参加者も大変大喜びでした。65名の皆さんが参加されました。

※これらの事業の様子は、財団フェイスブックに掲載していますので、是非ご覧ください！！



## 国立公園内ではスプレーペンキ等による マーキングは行わないでください

屋久島西部地域の半山地区において、白色、銀色、赤色のスプレーペンキで樹木などにマーキングされている場所が広範囲に多数確認されました。マーキングは、県道から海の方に線状に並んでいることから「道しるべ」として付けられたものと考えられます。

西部地域は屋久島国立公園の特別保護地区に指定され、世界自然遺産地域にも登録されています。スプレーペンキ等による樹木や岩へのマーキングは、自然景観を損なううえ、生態系にも影響を与える恐れがあるため、お控えください。屋久島の貴重な自然環境を保護するためのルールへのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

連載【屋久島を想う】99

### 「ときはアンコールに決して応えない」

研修課 専門員 山田島 崇文

連載も99回目を迎え、99人の想いを読んでみました。そこには、職員の島に対するあふれる気持ちがつづられていました。かくいう私も同じ気持ちです。初めて訪れたのは、23年前、田川日出夫元館長の鞆持ちで宮之浦に着いたときでした。3年前は、SPP事業による研修会や移動博物館を現在勤務している研修センターで実施。その間、種子島の理科教諭をしていたこともあって、およそ30回訪れていました。それに近年、屋久島に関する論文を3本出しています。少しずつ、島に引き寄せられていたのかもしれない（笑）。「ときはアンコールに決して応えない。（セネカ）」この23年間は戻りません。家族4人で暮らす屋久島デーも同様です。かわらない日々を過ごしなが、島の単なるプロではなく、一流を目指し続けて行かなくてはと、心に刻むいい機会となりました。